



H30. 7. 1 発行
三 瀧 保 育 園

梅雨の合間の晴れた日には、夏の日差しが降り注ぐようになりました。

先月の運動会では、役員の方々保護者の皆様のご協力と沢山の温かいご声援ありがとうございました。晴天の下、全力で頑張る子ども達は大きくたくましく見えましたね。心も体も成長できた運動会を終え、今後も目標に向かって色々なことに果敢にチャレンジしていきたいと思えます。


先日、すくすく農園にサツマイモの苗、園の花壇には トマト・ピーマン・オクラの苗を植えました。野菜の苗を見るのが初めての子も多く、葉の形や花をじっくりと観察し、絵に描いて育っていく過程を記録しています。

花壇の野菜には、うめ組・すみれ組・ゆり組の子ども達が毎日交代で水やりをし、太陽の陽射しを浴び成長した苗は、早速かわいらしい実を付け始めました。収穫を楽しみに、みんなで大事に育てていますので、登園・降園の際にぜひ親子でのぞいてみてください。

今月は、七夕会・お泊り保育・観劇と楽しい行事が待っています。季節の行事に楽しく参加し、暑さに負けず元気に過ごしましょう。

7月の行事




日	曜	行 事
6	金	七夕会 
10	火	お弁当の日
13	金	お泊り保育
14	土	(ゆり・すみれ組)
20	金	避難訓練
23	月	劇団バク観劇
24	火	身体測定
26	木	お誕生会
27	金	地震訓練



**♪劇団バクが
やってきますよ♪**

7月23日(月)
10時30分~
保育園2階〈遊戯室〉にて

演目
【ふしぎな きき耳ずきん】



ほけんだより

気をつけよう！夏の感染症

「プール」で楽しい夏ですが、体力の消耗の激しい時期でもあります。また、プールの水を媒介していろいろな病気が感染しやすく、あっという間に広まることも多いのです。夏、どんな感染症がはやるのかを知ったうえで十分に気をつけていきましょう。

ヘルパンギーナ

原因▶ コクサッキーウイルスA群などに飛沫感染することで発症。

症状▶ 高熱、のどの痛みが特徴。のどに水ほうや潰瘍（かいよう）ができて痛みがひどく、乳児の場合はミルクが飲めなくなるほどに。

対応▶ のどの痛みは、熱が下がってからも続くことがある。熱やのどの痛みがあるうちは、安静に過ごすように。



咽頭結膜熱（プール熱）

原因▶ アデノウイルスによる飛沫感染。目やにや便からうつることも。プールの水を介して感染することがあるので、「プール熱」と呼ばれる。

症状▶ 39℃以上の発熱とのどの痛みがあり、目のかゆみ、痛み、充血、涙など、結膜炎のような症状が出るのが特徴。

対応▶ 感染したら、症状がなくなってから2日経過するまでは登園停止。自宅で安静に過ごすように。



流行性角結膜炎

原因▶ 目とまぶたの裏側を覆っている結膜にアデノウイルスが感染して起きる炎症。ウイルス性の結膜炎の中でもっとも感染力が強く、プールの水だけでなく、タオルの共有や手指の接触によっても感染する。最近では季節に関係なく発症する傾向がある。

症状▶ まぶたのはれや異物感、痛み、充血。目やにで目が開けられなくなったり、発熱や下痢を伴うことも。

対応▶ 完治まで2～3週間かかり、発病から2週間は登園停止。感染予防のため、こまめに手を洗い、タオルの共有は避ける。

手足口病

原因▶ コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。

症状▶ 手のひらや足の裏、口の中に小さな水ほうや赤い発しんができ、熱が出ることも。

対応▶ 3～5日で治る。元気があれば登園できるが、まれに髄膜炎などの合併症を起こすことがあるので、頭痛やおう吐を伴う発熱が3日以上続くときは、すぐに受診を。



とびひ

原因▶ 虫刺されや湿しんをかきむしったあとに黄色ブドウ球菌が感染して起こる。症状がどんどん広がっていくことからこの名称で呼ばれる。皮膚が弱いとかかりやすい。

症状▶ 皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけたような状態になる。発熱することもある。

対応▶ 主な治療法は抗生物質の使用だが、衣服を清潔に保つこともたいせつ。患部をガーゼなどで覆って登園するように。また、患部がじくじくしているときは症状が悪化しやすいので、プールは避ける。シャワーを浴びる程度ならOK。

水いぼ

原因▶ ポックスウイルス群が原因。タオルやビート板の共有、体の接触などで感染する。

症状▶ 粟粒大のいぼが胸や腹、わきの下などにできて広がる。

対応▶ 完治まで半年から1年半程度かかる。自覚症状がなければ治療は不要。肌のバリア機能が低下しているときや、かゆくてかきこわしてしまうようなら、医師と相談のうえ、いぼを取ったり、薬による治療を行うことも。

